

# 経済・金融 フラッシュ

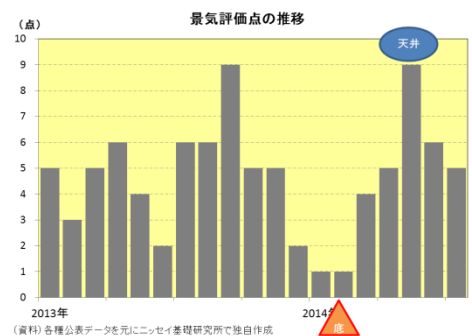
## 中国経済:14年7月の景気評価点 ~2ヵ月連続の低下で、景気の勢いは鈍化

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

○7月の景気評価点は前月より1点低下の5点となった。5月(9点)を天井に2ヵ月連続の低下となり、景気の勢いは鈍ってきている。但し、依然として○と×が半々の状況で、悲観するのはまだ早いだろう。

○中国政府は8月5日に「金融の合理的な伸びを維持」するよう指示、短期金利(SHIBOR 翌日物)を低めに誘導していることから、景気が再び勢いを取り戻す可能性もある。引き続き景気指標の動きから目が離せない。



### [ 景気評価点は1点低下の5点 ]

中国では7月の景気10指標<sup>1</sup>が出揃った。10指標のうち小売売上高は下向き(×)から上向き(○)に転じたものの、固定資産投資と非製造業商務活動指数が○から×に転じて、景気評価点は6月より1点低下の5点となった。5月(9点)を天井に2ヵ月連続の低下となり、景気の勢いは鈍ってきている。但し、依然として○と×が半々の状況で、悲観するのはまだ早いだろう(図表-1)。

(図表-1)

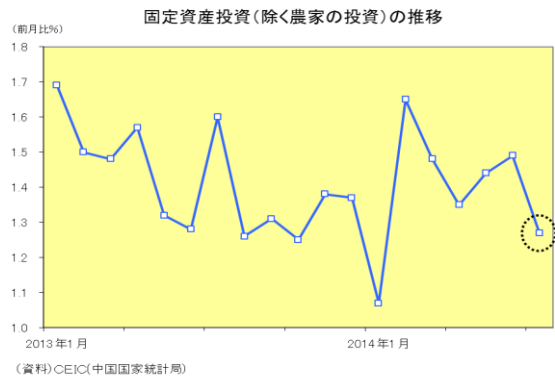
使用データ種類	需要面			供給面			その他				評価点 ○の数 (点)
	小売売上高	固定資産投資	輸出金額	工業生産	製造業PMI	非製造業商務活動指数	電力消費量	貨物輸送量	生産者物価(PPI)	通貨供給量(M2)	
	前月比	前月比	前月比	前月比	原数値	原数値	前年同月比	前年同月比	前月比	前年同月比	
2013年1月	×	○	×	×	○	○	×	○	—	○	5
2013年2月	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	3
2013年3月	○	○	×	×	○	×	×	×	○	○	5
2013年4月	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	6
2013年5月	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	4
2013年6月	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	2
2013年7月	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	6
2013年8月	×	×	○	○	○	×	○	○	○	×	6
2013年9月	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	9
2013年10月	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	5
2013年11月	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	5
2013年12月	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	2
2014年1月	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	1
2014年2月	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	1
2014年3月	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	4
2014年4月	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	5
2014年5月	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	9
2014年6月	×	○	×	×	○	○	×	○	○	○	6
2014年7月	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	5

<sup>1</sup> 10指標を選択した理由など概要は、「中国経済:最近の景気回復は本物なのか?~需給両面や電力消費・貨物輸送など景気10指標でチェックして見ると・・・」Weeklyエコミスト・レター 2014/06/27号を参照

### [ 需要面を見る 3 指標 ]

需要面を見る指標では、3 指標のうち 1 指標だけが○となった。個人消費の代表指標である小売売上高は×から○に好転したものの、投資の代表指標である固定資産投資は○から×に悪化 (図表-2)、輸出金額は 2 ヶ月連続で×となった。ここもとの 3 指標の推移を見ると、トレンドが明確に下向きになったとは見られないものの、力強さには欠けており、需要面の指標は一進一退の動きだといえるだろう。

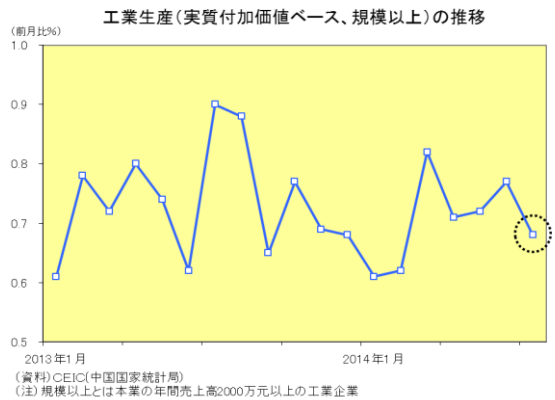
(図表-2)



### [ 供給面を見る 3 指標 ]

供給面を見る指標も、3 指標のうち 1 指標だけが○となった。工業生産 (実質付加価値ベース、規模以上) は、7 月に前月比 0.68% 増 (季節調整後) と 1 月の同 0.61% 増よりは高いものの、6 月の同 0.77% 増を下回っており、一進一退を続けている (図表-3)。また、製造業・非製造業を見ると、製造業の PMI は 3 ヶ月連続で○を維持した一方、非製造業の商務活動指数は 4 ヶ月ぶりに×に転じており、非製造業 (特に建設業) の動きには陰りが見えてきた。

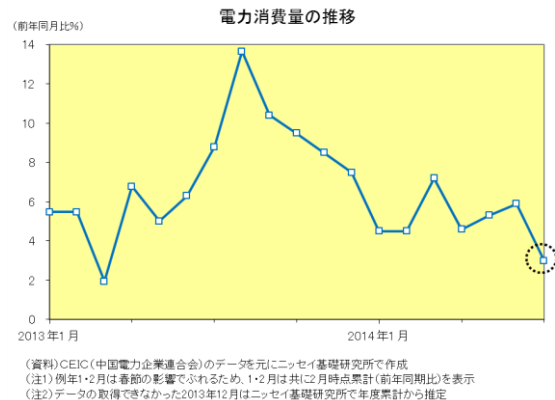
(図表-3)



### [ その他の重要な 4 指標 ]

その他の重要な指標では、4 指標のうち 3 指標が○となった。鉄道貨物輸送量、生産者物価 (PPI)、通貨供給量 (M2) の 3 つは 3 ヶ月連続の○で、モノの動き、モノの価格、カネの動きはいずれも上向きを維持したようだ。但し、電力消費量は 2 ヶ月連続の×となっており、内訳を見ても第二次産業、第三次産業ともに前月より伸びが鈍化していることから、景気の勢いには弱さも見られる (図表-4)。

(図表-4)



### [ 総括 ]

景気 10 指標の動きを見ると、中国の景気は回復のトレンドが一服する踊り場を迎えたようだ。中国政府 (國務院) は 8 月 5 日 (公表は 8 月 14 日) に「金融の合理的な伸びを維持」するよう指示し、短期金利 (SHIBOR 翌日物) をそれまでの 3.25% 前後から 3% 弱へと低めに誘導していることから、景気が再び勢いを取り戻す可能性はまだ残っている。しかし、住宅価格の下落という懸念材料も燻っていることから、引き続き景気指標の動きから目が離せない状況といえそうだ。

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。